2025 年度

事業計画書

自：2025 年 4 月 1 日
至：2026 年 3 月 31 日

公益財団法人古河記念基金

東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号
常盤橋タワー（古河三水会内）

Ⅰ．総括的な方針

当基金は、1965 年（昭和 40 年）11 月に財団法人として設立され、以来古河系主要各社の支援と協力により基本財産の拡充が図られ今日に至っている。

2011 年（平成 23 年）11 月には法律改正に伴う公益財団法人への移行認定を受け、同月に公益財団法人への変更登記をした。

事業としては、従来同様育英事業（奨学金、研究助成）を行う。

奨学金事業として、理工科系専攻の日本人学生および外国人留学生に対する奨学金給付を行う。対象者は、学業および人物ともに優秀かつ健康であるが学資の支弁が困難と認められる者とする。

また、研究助成事業として、理工科に関する研究機関及び研究者に対し研究費助成を行う。

Ⅱ．奨学金事業

当基金の経常収益は基本財産運用益と寄付金により賄われており、現状の水準は概ね 25～27 百万円程度。この水準に見合う奨学金支給人数は、55 名前後である。

2024 年度は、計画 54 名に対し、採用も同数の 54 名であったが、2 名の 9 月卒業、1 名の 10 月からの休学等による給付額減少要因により、給付額は計画比 1,555 千円減となる見込み。

2025 年度の計画は、奨学生 55 名（10 月からの復学予定者 1 名を含む）、奨学金給付額 23,340 千円とする。

2024 年度見込みと比較すると、人数は 1 名増、金額は 355 千円増となるが、通常水準である 2024 年度計画と比較すると 1,200 千円減となる。これは、2025 年度には、支給月額が高い外国人奨学生の継続 2 名がないためである。

2024 年度のアンケートによれば、54 名のうち、2025 年 3 月までに卒業・支給期間満了が 25 名であり、残り 29 名（10 月からの復学予定者 1 名を含む）が 2025 年度も支給継続を希望している。

2025 年度の新規採用者の計画は 26 名とする。内訳は、指定大学推薦は例年どおり、日本人 3 名、外国人留学生 2 名とし、インターネット募集は 21 名とする。

１．　指定大学推薦による奨学金給付事業

指定 5 大学（東京大学、東京科学大学、横浜国立大学、早稲田大学、慶應義塾大学）の理工科系専攻の学生で、学業および人物ともに優秀かつ健康であるが学資の支弁が困難と認められる者で、各大学の推薦を受けた者を対象とする。

１．１　日本人学生

指定国立 3 大学（東京大学、東京科学大学、横浜国立大学）に対し学部 2 年生以上または大学院の学生を各 1 名、合計 3 名の新規推薦を募集する。継続 9 名と合わせ、12 名に対し給付を行う。

- 支給月額および支給期間

	支給月額	支給期間
自宅通学者	30,000 円	正規の最短修業期間で 最長 6 年間
自宅外通学者	35,000 円	

１．２　外国人留学生

指定 5 大学の理工科系専攻の学部 3 年生以上または大学院の学生を対象とするが、奨学金総支給額を抑えるため、2013 年度（平成 25 年度）から新規推薦募集を早稲田大学、慶應義塾大学の 2 大学に各 1 名としており、2025 年度の新規推薦募集も同様とする。継続 0 名であり、新規 2 名に対し給付を行う。

- 支給月額および支給期間

支給月額	支給期間
80,000 円	正規の最短修業期間で 最長 2 年間

２．　インターネット募集による奨学金給付事業

日本の 4 年制大学の理工科系専攻の学部 2 年生以上または大学院に在籍する日本人学生で、学業および人物ともに優秀かつ健康であるが学資の支弁が困難と認められる者を対象とする。なお、金属その他資源関係専攻の学生を優先する。

2016 年度の募集から、インターネットの「一般法人・公益法人等情報公開共同サイト」に募集要項を掲示し、広く一般から募集している。

新規採用者は 21 名とし、継続 20 名と合わせ、41 名に対し給付を行う。

- 支給月額および支給期間

	支給月額	支給期間
国、公立在学者で自宅通学者	30,000 円	正規の最短修業期間で 最長 6 年間
国、公立在学者で自宅外通学者	35,000 円	
私立在学者で自宅通学者	35,000 円	
私立在学者で自宅外通学者	40,000 円	

３．　奨学金給付事業別の支給計画明細表

（単位：人、千円）

区分				月額	2024年度見込		同　計画		同　計画比		2025年度計画		対前年度見込比	
					人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
指定大学推薦	日本人	新規	自宅	30	1	360	1.0	360	0.0	0	1	360	0.0	0
			自宅外	35	2	840	2.0	840	0.0	0	2	840	0.0	0
		継続	自宅	30	1.5	540	2.0	720	▲ 0.5	▲ 180	1.5	540	0.0	0
			自宅外	35	5	2,075	5.0	2,100	0.0	▲ 25	7	2,940	2.0	865
		日本人計			9.5	3,815	10.0	4,020	▲ 0.5	▲ 205	11.5	4,680	2.0	865
	外国人	新規		80	1	960	2.0	1,920	▲ 1.0	▲ 960	2	1,920	1.0	960
		継続		80	1.5	1,440	2.0	1,920	▲ 0.5	▲ 480	0	0	▲ 1.5	▲ 1,440
		外国人計			2.5	2,400	4.0	3,840	▲ 1.5	▲ 1,440	2.0	1,920	▲ 0.5	▲ 480
	大学推薦合計				12.0	6,215	14.0	7,860	▲ 2.0	▲ 1,645	13.5	6,600	1.5	385
インターネット募集	新規	国公立	自宅	30	1	360	1.0	360	0.0	0	9	3,240	8.0	2,880
			自宅外	35	3	1,260	2.0	840	1.0	420	5	2,100	2.0	840
		私立	自宅	35	2	840	1.0	420	1.0	420	4	1,680	2.0	840
			自宅外	40	0	0	1.0	480	▲ 1.0	▲ 480	3	1,440	3.0	1,440
		新規計			6.0	2,460	5.0	2,100	1.0	360	21	8,460	15.0	6,000
	継続	国公立	自宅	30	7	2,520	6.0	2,160	1.0	360	4	1,440	▲ 3.0	▲ 1,080
			自宅外	35	15	6,300	15.0	6,300	0.0	0	8	3,360	▲ 7.0	▲ 2,940
		私立	自宅	35	8.5	3,570	10.0	4,200	▲ 1.5	▲ 630	6	2,520	▲ 2.5	▲ 1,050
			自宅外	40	4	1,920	4.0	1,920	0.0	0	2	960	▲ 2.0	▲ 960
		継続計			34.5	14,310	35.0	14,580	▲ 0.5	▲ 270	20.0	8,280	▲ 14.5	▲ 6,030
	インターネット合計				40.5	16,770	40.0	16,680	0.5	90	41.0	16,740	0.5	▲ 30
合　計					52.5	22,985	54.0	24,540	▲ 1.5	▲ 1,555	54.5	23,340	2.0	355

※「2024 年度見込」奨学生 54 名のうち、3 名は 2024 年 9 月までの支給であるため 52.5 名とした。
（54 名－▲0.5×3 名＝52.5 名）
・大学推薦日本人継続の 1 名は、2024 年 10 月から 1 年間休学
・大学推薦外国人継続の 1 名は、2024 年 9 月に卒業
・インターネット募集継続の 1 名は、2024 年 9 月に卒業
※「2024 年度見込」日本人継続 自宅外 5 名のうち 1 名は 2024 年 11 月から自宅に変更
※「2025 年度計画」新規の国・公立/私立、自宅/自宅外の人数は、2024 年度における人数比をもとに想定した。

４．　その他付随行事

奨学金給付事業に付随して、以下の行事を行う。

４．１　奨学金支給決定書交付会

2025 年 6 月に開催する。

４．２　交流誌の発行

2025 年 9 月に第 43 号、12 月に第 44 号を発行する。

４．３　奨学生工場見学会

2025 年 8 月～9 月に実施する。

Ⅲ．研究助成事業

2026 年 2 月に、研究費助成として以下のとおり支給する。

早稲田大学　理工学術院	500 千円（1 名）
慶應義塾大学　理工学部	500 千円（1 名）

Ⅳ．その他事業　（その他当基金の目的を達成するために必要な事業について）

2025 年度も、前記の育英事業を重点的に推進するため、その他事業については計画していない。

以　上

2025年度 収 支 予 算 書

（2024年度予算・決算予想対比）

（2025年4月1日から2026年3月31日まで）

公益財団法人古河記念基金

（単位：円）

科　　目	2025年度（予算） 公 1 奨学金事業	公 2 研究助成事業	法人会計	合　計	2024年度（予算）	2024年度予算比増減	2024年度（決算予想）	2024年度決算予想比増減	備 考
	A	B	C	D＝A＋B＋C	E	D−E	F	D−F	
Ⅰ 一般正味財産増減の部									
1．経常増減の部									
（1）経常収益									
基本財産運用益	7,637,026	341,956	3,801,971	11,780,953	11,117,927	663,026	11,716,501	64,452	
基本財産受取利息	7,637,026	341,956	3,801,971	11,780,953	11,117,927	663,026	11,716,501	64,452	株式配当金増
受取寄付金	15,344,000	56,000	1,000,000	16,400,000	16,400,000	0	16,865,000	▲ 465,000	
受取寄付金（三水会）	14,000,000	0	1,000,000	15,000,000	15,000,000	0	15,000,000	0	
受取寄付金（個人等）	1,344,000	56,000		1,400,000	1,400,000	0	1,865,000	▲ 465,000	例年どおりの水準で計画
雑収益	158	19	15	193	193	0	2,421	▲ 2,228	
受取利息	158	19	15	193	193	0	2,421	▲ 2,228	
その他収益	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常収益計	22,981,184	397,975	4,801,986	28,181,146	27,518,120	663,026	28,583,922	▲ 402,776	
（2）経常費用									
事業費	24,824,458	1,155,858	0	25,980,316	27,180,316	▲ 1,200,000	25,157,234	823,082	
役員報酬（選考委員会）	103,158	103,158	0	206,316	206,316	0	206,316	0	
支払奨学給付金	23,340,000			23,340,000	24,540,000	▲ 1,200,000	22,985,000	355,000	
支払研究助成金		1,000,000		1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	0	
交流誌発行費	5,000			5,000	5,000	0	2,500	2,500	
奨学生工場見学会費	560,000			560,000	560,000	0	369,819	190,181	
奨学金交付会費	342,000			342,000	342,000	0	204,570	137,430	
会議費	198,000	22,000		220,000	220,000	0	71,752	148,248	
旅費交通費	2,250	250		2,500	2,500	0	750	1,750	
通信運搬費	45,000	5,000		50,000	50,000	0	41,702	8,298	
消耗品費	30,150	3,350		33,500	33,500	0	22,911	10,590	
雑費	198,900	22,100		221,000	221,000	0	251,915	▲ 30,915	
管理費	0	0	622,316	622,316	622,316	0	673,561	▲ 51,245	
役員報酬（評議員会）			206,316	206,316	206,316	0	412,632	▲ 206,316	
会議費			220,000	220,000	220,000	0	71,752	148,248	
旅費交通費			2,500	2,500	2,500	0	750	1,750	
通信運搬費			50,000	50,000	50,000	0	41,702	8,298	
消耗品費			33,500	33,500	33,500	0	22,911	10,590	
雑費			110,000	110,000	110,000	0	123,814	▲ 13,814	
経常費用計	24,824,458	1,155,858	622,316	26,602,632	27,802,632	▲ 1,200,000	25,830,795	771,838	
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 1,843,274	▲ 757,883	4,179,670	1,578,514	▲ 284,512	1,863,026	2,753,128	▲ 1,174,614	
基本財産評価損益等				0	0	0	0	0	
特定資産評価損益等				0	0	0	0	0	
投資有価証券評価損益等				0	0	0	0	0	
評価損益等計				0	0	0	0	0	
当期経常増減額				1,578,514	▲ 284,512	1,863,026	2,753,128	▲ 1,174,614	
2．経常外増減の部									
（1）経常外収益				0	0	0	0	0	
（2）経常外費用				0	0	0	0	0	
当期経常外増減額				0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額				1,578,514	▲ 284,512	1,863,026	2,753,128	▲ 1,174,614	
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
受取寄付金				0	0	0	0	0	